

「9条」が危ない! 「憲法」が危ない!

憲法9条改悪をとめる!!

戦争に加担せず、平和に生き続けられる日本を求めます。

総選挙の結果、改憲を叫ぶ政党が国会の3分の2をしめることになりました。それに対して、外国主流メディアが警鐘を鳴らしています。英エコノミスト誌は、「新政権は、過激な国粋主義者たちによる内閣」と述べています。

アジア2000万人の犠牲と、廃墟になった国土。その反省から生まれた日本国憲法を改悪し、再び「戦争ができる国」にするわけにはいきません。憲法9条を守り抜くことを求める署名を国会に山積みしましょう。



9条改正の前に、改憲のハードル下げる

自民党は、法第9条や前文を変えて、自衛隊を国防軍にするとともに、海外派兵を自由にして、日本を米軍と一緒に「戦争ができる国」に変えようとしています。

日本国憲法96条は、憲法の改正は、①衆参両院でそれぞれ3分の2以上の賛成で発議、②国民投票での過半数の賛成が必要、としています。

自民党は、憲法を変えやすくすることから手を付けよう、と「96条改正」をもくろんでいます。また「集団的自衛権行使を禁じた憲法解釈見直し」「国家安全保障会議の創設」「防衛費上積み」を推進し、日本維新の会やみんなの党と一緒に、憲法改悪へ突き進もうとしています。



狙っているのは、憲法全体の改悪

安倍・自民党は、原発事故でふるさとに帰れない人がいっぱいいるのに「原発再稼働」、消費税を増税し生活保護削減など社会保障の切り捨てなどを進めています。これらは日本国憲法の理念とさかさまです。

さらに自民党などは、天皇を「元首」とし、国旗は日章旗、国歌は君が代と定め、「国民の責務(義務)」条項を設けての基本的人権の制限、道州制導入による統治機構の改変など、憲法全体を改悪しようとしています。

9条を政治・外交に 生かして、世界平和に貢献を

日本は、戦後67年間一度も戦争に巻き込まれることはありませんでした。それは、憲法9条があったからです。日本国憲法は、「平和のうちに生存する権利」を確認した世界とアジアと、歴史への約束です。世界は、軍事同盟を廃止し、平和共同体をつくる流れが加速しています。アジアでもASEAN(東南アジア諸国連合)を中心に紛争の平和的解決を求めるとりくみがひろがっています。戦争放棄をうたった9条をもつ日本がリーダーシップを発揮し、世界平和に貢献することこそ求められます。

だから

署名にご協力を
憲法9条を守り生かす



衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法を改悪せず、 第9条を守りぬくことを求める署名

戦争に加担せず、平和に生き続けられる日本を求めます

❧ 請願趣旨 ❧

世界の人々の願いは、戦争も核兵器もなく平和に生きることです。

日本国憲法は、第二次世界大戦での悲惨な体験の上に、戦争を違法とする世界の流れと平和と民主主義を求める日本国民の努力によって生み出されました。とくに第9条で掲げた「戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権の否認」は、紛争を平和的に解決しようとする21世紀の平和の理念として輝いています。

ところがいま、第9条を変えようとする動きが強まっています。発議要件を緩和して改憲をしやすくし、その上で国防軍創設のために第9条を変えようという動きです。憲法解釈を変更して、集団的自衛権の行使を可能にする法整備を行おうとする解釈改憲の動きも急です。このねらいが、アメリカの軍隊とともに自衛隊が海外で戦争できるようにするもので、国際紛争解決のための武力行使を禁ずる憲法の基本理念とは一致しません。

いまこそ日本国憲法の恒久平和、国民主権、基本的人権の3原則をはじめとする各条項の順守が求められています。とくに、平和のうちに生き、くらしたいとの国民の総意を反映した憲法第9条を、政治・外交にいかし、日本が世界平和に貢献するよう求めます。

❧ 請願事項 ❧

憲法を改悪せず、第9条を守り抜き、平和のためにいかすこと

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |